

項目	内容
名称	キオン、ヒゴオミナエシ、オウエン [英]Alpine ragwort [学名]Senecio nemorensis L.
概要	<p>キオンは、日本や中国をはじめとする東アジアからヨーロッパまで分布するキク科の多年草。</p>  <p>高さ50～100 cm程度に生長する。全草を中医方では黄苑 (おうえん) と呼び、腸炎、肝炎、結膜炎などの治療に煎じて服用される。</p> <p><small>写真提供: 広島大・医歯薬・生薬学研究室</small></p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・シナリン、クロロゲン酸、マクロフィリン、サルラシン等を含む (7) 。 ・ピロリジジナルカロイドが根に多く含まれる。
分析法	-
有効性	

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒト 生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
での 脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
の 免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
評価 骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(7) 中薬大辞典 小学館 (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら監訳

- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)
- (34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一
- (35) 新分類 牧野日本植物図鑑 北隆館
- (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
[\(PMID:7700976\) Pharmazie. 1995 Feb;50\(2\):83-98.](#)
[\(PMID:7199918\) Arzneimittelforschung. 1982;32\(2\):144-8.](#)
[\(PMID:15649625\) Toxicol Lett. 2005 Mar 15;155\(3\):411-20.](#)
[\(PMID:1292793\) J Hepatol. 2003 Sep;39\(3\):437-46.](#)